

医師のキャリア応援マガジン

# RECRUIT DOCTOR'S CAREER

リクルートドクターズキャリア

2020  
October

10

今月の  
転職情報 | 209件

2020年最新

特集1

# 5年後もうまくいく開業



特別企画

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の時代に、  
医師はキャリアをどう考えるか

特集2

コロナ禍で再注目  
オンライン診療のいま

私のキャリアチェンジ

「診断がつかない患者を引き受け  
適切な治療に導く総合診療で  
地域医療の質を向上させる」

総合診療科・63歳

連載

Medical English

広告特集

- 開業特集
- 訪問診療特集



「私のイメージからかけ離れた図面でした。花房氏は驚きを隠せなかった。それは自分が事前に伝えていたイメージと大きくかけ離れたものだったからだ。コンパス社が提案するレイアウトの比較を説明しつつ、患者やスタッフの動線やその効率など、人がどのようにクリニックの中で動いているかを丁寧に伝えた。

「私のイメージからかけ離れた図面でしたが、説明を聞いていくうちに、コンパスさんの設計案のほうが理にかなっていました」と納得しました」

コンパス社は医療機関の設計・施工に関する豊富な実績を持ち、これまでにもプロの知見を活かした提案を行っている。患者の動き、そこで働くスタッフの動きを考慮した上で、コンパス社はあえて依頼者のイメージとは異なる図面を提案し

「コンパスさんは、診察室の扉は診察室の扉について説明を受けたときのことを話してくれた。

長渡氏は、その後もさまざまなかたちで花房氏と率直に意見を交わしてきた。

「話の中心は設計や工事のことですが、それ以上のお話をさせていただくことがありました。院長は、私たちの意見に耳を選んでくださった。その後、コストバランスの調整を行いましたが、何よりも最初に金額ありきではなく、設計力や技術力といったものに価値を認めていただ

いたことが嬉しかった」

長渡氏は、その後もさまざまなかたちで花房氏と率直に意見を交わしてきた。

「話の中心は設計や工事のことですが、そこより良い判断をしていただけるよう、こちらは専門家としての知識や情報といった判断の材料を率直にお伝えしてきました」

長渡氏の言葉を受けて、花房氏は、診察室の扉について説明を受けたときのことを話してくれた。

「コンパスさんからは、診察室の扉は1日100人の患者さんが来れば、最低200回の開閉がある。それが10年経過したら何十万回と開閉することになります。家庭用の扉は、それほどの耐用は想定されていませんので、メンテナンスを含め長い目で見たらコストを抑えることができ、また可動がスマートな扉は患者さんにも喜ばれる」と言わわれ納得しました」

建築コストを抑えるためならば、低価格の建材や設備材を採用することも方法の一つだが、その場合もとの部分であれば問題はないが、クリニックという用途の性質を考えなくてはいけない。開業時のコスト、メンテナンス等のランニングコスト、医院経営という長いスパンに立って判断することが大切なのだ。

このように開業後のことを見据えた提案に、花房氏はコンパス社への信頼を深めたとい

う。私は、医療の専門家として、一生懸命に患者さんを診てきました。しかし、開業は初めての経験で、設計に関してはまったく

花房氏は信頼を寄せた。

一方、花房氏がメインコンセプトと据えていた「診察室を3部屋作る」という部分は、しっかりと図面に反映されてい

た。診察室を3つ作るというコンセプトは、患者に焦らず治療を受けてもらうための医師としての心配りであると同時に、皮膚科診療の特性からも理にかなっています。皮膚科は腹部や背部など、患部が衣服の下にあることも多く、その場合診療の前後で衣服の着脱に時間を要するからだ。

コンパス社の考え方抜かれた図面を見て、感銘を受けた花房氏は振り返る。

「個人住宅とは異なり、クリニックは、医師や医療スタッフ、患者さんと立場の誰にとつても使い勝手が良く、居心地の良いものにしないといけません。しかし、建築の専門家ではない医師がそのようなイメージを最初から描くというのは難しいですね。そんなとき、コンパスさんは多角的な視点で提案してくれました。

説明を聞いていくうちに、明確なイメージを結ぶことができました」

コンパス社では初めて開業をする医師ともクリニックの完成イメージを共有するため、医師の希望を柔軟に取り入れつつ、プロならではの提案を行い、そして丁寧な説明を行うことをモットーとしている。また、最善の提案のために、設計図を何パターンか提案したり、設計スタッフ数名による社内コンペを実施することもあるという。アイデアを広く募り、最も良いものを提案する。医療機関の設計

たわけだが、そのプロならではの姿勢に花房氏は信頼を寄せた。

一方、花房氏がメインコンセプトと据えていた「診察室を3部屋作る」という部分は、しっかりと図面に反映されていました。診察室を3つ作るというコンセプトは、患者に焦らず治療を受けてもらうための医師としての心配りであると同時に、皮膚科診療の特性からも理にかなっています。皮膚科は腹部や背部など、患部が衣服の下にあることも多く、その場合診療の前後で衣服の着脱に時間を要するからだ。

コンパス社の考え方抜かれた図面を見て、感銘を受けた花房氏は振り返る。

「個人住宅とは異なり、クリニックは、医師や医療スタッフ、患者さんと立場の誰にとつても使い勝手が良く、居心地の良いものにしないといけません。しかし、建築の専門家ではない医師がそのような

イメージを最初から描くというのは難しいですね。そんなとき、コンパスさんは多角的な視点で提案してくれました。説明を聞いていくうちに、明確なイメージを結ぶことができました」

コンパス社では初めて開業をする医師ともクリニックの完成イメージを共有するため、医師の希望を柔軟に取り入れつつ、プロならではの提案を行い、そして丁寧な説明を行うことをモットーとしている。また、最善の提案のために、設計図を何パターンか提案したり、設計スタッフ数名による社内コンペを実施することもあるという。アイデアを広く募り、最も良いものを提案する。医療機関の設計

くの素人です。扉にしても家庭用とクリニックに適したものとの違いなどを考えたことはありませんでした。ですから、クリニックの設計や内装について、判断が難しい場面では、コンパスさんにアドバイスを求めました。一つひとつ明確で、納得できる説明を、すぐにもらえたことがありがたかったです」

花房氏は、当初30坪くらいのコンパクトなスペースで開業するつもりだったが、立地などの諸条件を加味し最終的に選択したのは40坪の現物件だった。家賃もそのぶん高かったため、不安を抱えながらの船出だったという。ところが、いざ開業してみると、花房氏の的確な診療、丁寧な対応、居心地のよい診療空間が、地域で評判を呼び、予想をはるかに上回るペースで患者は増えていった。

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医や日本アレルギー学会認定アレルギー専門医の資格を持つ花房氏は、個々の患者の多様な症状に対して、きめ細やかな診療を行っている。医院の周辺には新しく開発された住宅地があり、若いファミリー層も多く居住しているため、アトピー性皮膚炎に苦しむ子どもの受診も多かった。

開業から4ヶ月ほどで1日の受診者数が100名を超えた。さらにその4ヶ月後には200名を超えるまでになつた。

さらに、そのころ保険診療とは別に自費診療にも取り組み始めたところだった。費用診療では、主にアトピー性皮膚炎の

## 開業後を見据えた提案に

### コンパス社への信頼を深めた

コンパス社の専務取締役である長渡武史氏は、これまで多くの開業案件に携わってきた。千里中央花ふさ皮ふ科では受注に当たつて印象的なことがあったと語ってくれた。

「同クリニックの内装業者選定については、複数社の図面・概算見積によるコンペ形式だったのですが、実は弊社の見積は、他社よりも高かったのです。もちろんに対するコンパス社の意識の高さがうかがえる。

2004年大阪大学医学部医学科卒業。2012年大阪大学大学院医学系研究科皮膚科学博士課程修了、医学博士取得。大阪大学皮膚科学教室入局後、2012年に大阪大学大学院医学系研究科皮膚科学特任助教。2013年カリフォルニア大学サンフランシスコ校留学。2015年東京医科歯科大学皮膚科講師・外来医長／病棟医長。2017年千里中央花ふさ皮ふ科を開院。2019年に医療法人佑謙会を設立。

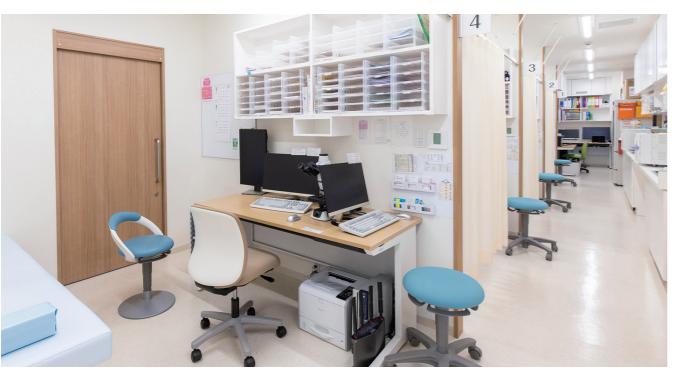
【資格】

医学博士（大阪大学大学院）

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医/日本アレルギー学会認定アレルギー専門医/日本抗加齢医学会認定専門医/難病指定医

【所属学会】

日本皮膚科学会/日本アレルギー学会/日本小児皮膚科学会/日本抗加齢医学会/日本美容皮膚科学会など



花房氏が当初考案した複数の診療室を設け、自分がそれらの診療室を行き来するというメインコンセプトは、保険診療エリアが2階に移っても維持されている



千里中央花ふさ皮ふ科 院長  
花房 崇明氏

2004年大阪大学医学部医学科卒業。2012年大阪大学大学院医学系研究科皮膚科学博士課程修了、医学博士取得。大阪大学皮膚科学教室入局後、2012年に大阪大学大学院医学系研究科皮膚科学特任助教。

【資格】

医学博士（大阪大学大学院）

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医/日本アレルギー学会認定アレルギー専門医/日本抗加齢医学会認定専門医/難病指定医

【所属学会】

日本皮膚科学会/日本アレルギー学会/日本小児皮膚科学会/日本抗加齢医学会/日本美容皮膚科学会など

